

交流事業に参加したことによりありのままの岩泉町を見ることが出来ました。

毎年、昭島市で催される産業まつりやくじら祭での岩泉町のテントで買物をしながら様子を聞いていただけでしたが、もっと前から訪れれば良かったと思いました。

昨年の台風被害で小本川、安家川、清水川の様子は自然の怖さを見せつけられました。

うれいら通りを散策していた時に入った「てどの蔵」で小本から来ていた女性とコーヒーを飲みながら様子をお聞きすることができました。小本川水門の事、明治29年、昭和8年、平成23年の津波、そして昨年の台風による山津波と4回も災害に遭い家を失っていることなどを話して頂きました。また安家地区では家の被害に遭ったお年寄りの男性から山津波の様子をお聞きすることが出来ました。が、とてもつらさを感じました。岩泉町の方と直にお話が聞けたことはとても実りあることでした。

